

## ・ICT

Information and Communication Technologyの略。情報通信技術。同義語にIT (Information Technology)。

## ・デジタルイノベーション

デジタル技術やデジタル化された情報を活用することで、業務やビジネス・サービスを変革し、新たな価値を創出すること。

## ・フロントサービス

住民や民間企業等の外部とのインターフェース部分における業務・サービスのこと。

## ・AI

Artificial Intelligenceの略。人工知能。

## ・キャッシュレス

クレジットカードや電子マネー等を利用した電子決済。

## ・バックサービス

庁内における事務処理的な業務・サービスのこと。

## ・RPA

Robotic Process Automationの略。人が行うPC 操作等のオペレーションを、ソフトウェアロボットが、そのまま同じように自動で行うためのツール。

## ・デジタルレイバー

事務作業を自動的に行ってくれるコンピュータ・プログラム。

## ・テレワーク

ICTを活用した、場所や時間にとらわれない柔軟な働き方。

## ・ワークライフバランス

仕事と生活の調和と訳され、「国民一人ひとりがやりがいや充実感を持ちながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、家庭や地域生活等においても、子育て期、中高年期といった人生の各段階に応じて多様な生き方が選択・実現できる」ことを指す。

## ・クラウド化

庁舎内にサーバを設置して運用してきたシステムを、インターネットや仮想専用線(VPN)等を通じて、外部の事業者が提供するサービスを利用する形態に置き換えること。

## ・データセンター

各種のコンピュータやデータ通信等の装置を設置・運用することに特化した施設の総称。

## ・2in1ノート

ツーインワンノート。キーボードを取り外したり、360°回転させたりして、タブレットとしても使えるパソコン。

## ・スマートデバイス

パソコンやメインフレーム、ワークステーション等の既存のコンピュータの枠にとらわれない情報機器の総称。

## ・DX

Digital Transformationの略。進化したIT技術を浸透させることで、人々の生活をより良いものへと変革させるという概念のこと。

## ・デジタルファースト

一般には、紙の印刷物として提供されていた書類・書籍・新聞・雑誌などを、最初から電子データで提供すること。行政においては、「個々の行政手続きやサービスを一貫してデジタルで行う」という考え方。

## ・ワンスオンリー

デジタル手続法の基本原則の一つとして、「一度提出した情報は、二度提出することを不要とする」という考え方。

## ・コネクテッドワンストップ

デジタル手続法の基本原則の一つとして、「民間サービスを含め、複数の手続き・サービスをワンストップで実現する」という考え方。

## ・オープンデータ

機会判読に適したデータ形式で、かつ二次利用が可能な利用ルールで公開されたデータ。誰でも許可されたルールの範囲内で自由に複製・加工や頒布などができる。

## ・EBPM

Evidence Based Policy Makingの略。データに基づく政策決定。政策の企画をその場限りのエピソードに頼るのではなく、政策目的を明確化したうえで、合理的根拠(エビデンス)に基づくものとする。

## ・アジャイル思考

まずは小さな単位で試しつつ、修正を繰り返しながら徐々にその完成度を高めていく考え方。

## ・サービスデザイン思考

「人」こそがサービスや製品、しくみの作り方・あり方に影響を与える非常に重要な要素であるということを前提に、ユーザーの思考・行動をベースにサービスを検討していくという考え方。

## ・デジタルデバイド

IT(情報技術)を利用できる層とできない層との間で生じる格差のこと。